

## 碓高原育ちの乳牛たちが酪農家へ里帰り

－ 令和3年度乳用育成牛譲渡を終了 －

碓高原牧場では、全農哺育センターと連携した「京都酪農牛づくり事業」に取り組み、府内での優秀な後継牛確保を支援するとともに、府内の酪農家から後継牛となる乳子牛を導入後、主に受精卵移植で和牛子牛を受胎させ、酪農家に譲渡する「乳用育成牛の譲渡事業」を続けています。

今年度は、牛づくり事業で導入した9頭のうち、受胎した3頭を哺育センターへ戻すとともに、乳用育成牛譲渡事業では、昨年春に導入したホルスタイン種22頭が順次酪農家のもとへ帰り、さらには11月には来年2月に分娩予定のホルスタイン種2頭が無事に里帰りして、今年度の譲渡を終了しました。

今後は、酪農家において無事出産し、優秀な後継牛として活躍するとともに、府内産和牛子牛増産の一翼を担ってくれることを期待しています。



里帰りを待つ乳牛達



里帰り前の最終チェック

畜産センター  
碓高原牧場